

(別紙4(2))

事業所名 グループホームさくら・さくら

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 11月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自己1 外部(1)	理念とは考え方の礎になるものであり、早々に変化していくものではないし、変化するとしたならばそれは本質をついておらず、理念と呼ぶべきものではないのではないか。 利用者や家族、地域住民のニーズの変化、ケアの進化によって変えていくべきものは、事業の方向性や方針である。 毎年の事業計画には地域密着型サービスとして事業所がどうあるべきか、その目標を掲げながら推進しているが、中長期計画を策定するにまでは至っていない為、今後、その整備を要する。	現状における利用者・家族、地域住民のニーズ、に加えて、今後の地域社会の情勢を鑑みながら、中長期計画を策定する。 毎年策定している事業計画では、この中長期計画をベースに達成度を確認・評価しながら、次年度計画を策定するものとする。	①担当者、管理者が協働して中長期計画(案)を策定する ②中長期計画(案)を部門会議でリーダー以上の役職者と検討を行う。 ③運営推進会議等で家族や地域住民にも示しながら、助言をもらう ④中長期計画を部門全体会議で示し、中長期的な方向性を共有すると共に、具体的実践について深め合う	3ヶ月
2	自己35 外部(13)	日中、夜間における火災に対する防災訓練の実施は行われているが、水害や地震発生を想定した防災訓練までには至っていない。	策定しているマニュアルを見直すと共に、部門全体会議等を通じて、全スタッフとの再確認を行う  水害、地震発生に関する防災訓練を年間計画に位置付け、実施する。	①マニュアルの見直し、必要に応じて加筆修正(管理者、防災担当者) ②部門全体会議でのマニュアルの再確認、周知徹底(全スタッフ) ③マニュアルに則って訓練するに際し、どのような訓練を行うか、検討する。同時に年間計画の中に位置付け、計画的に実施するようにする(管理者、防災担当者)	計画3ヶ月 実施通年

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。